

Ⅲ 勤労者等意識調査 調査結果の概要

A. 回答者の属性

1. 就労者・未就労者の割合

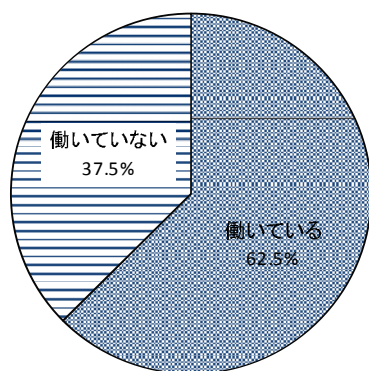
就労者は62.5%、未就労者は37.5%である。

性別で見ると、男性では就労者70.7%、未就労者29.3%となっており、女性では就労者56.5%、未就労者43.5%となっている。

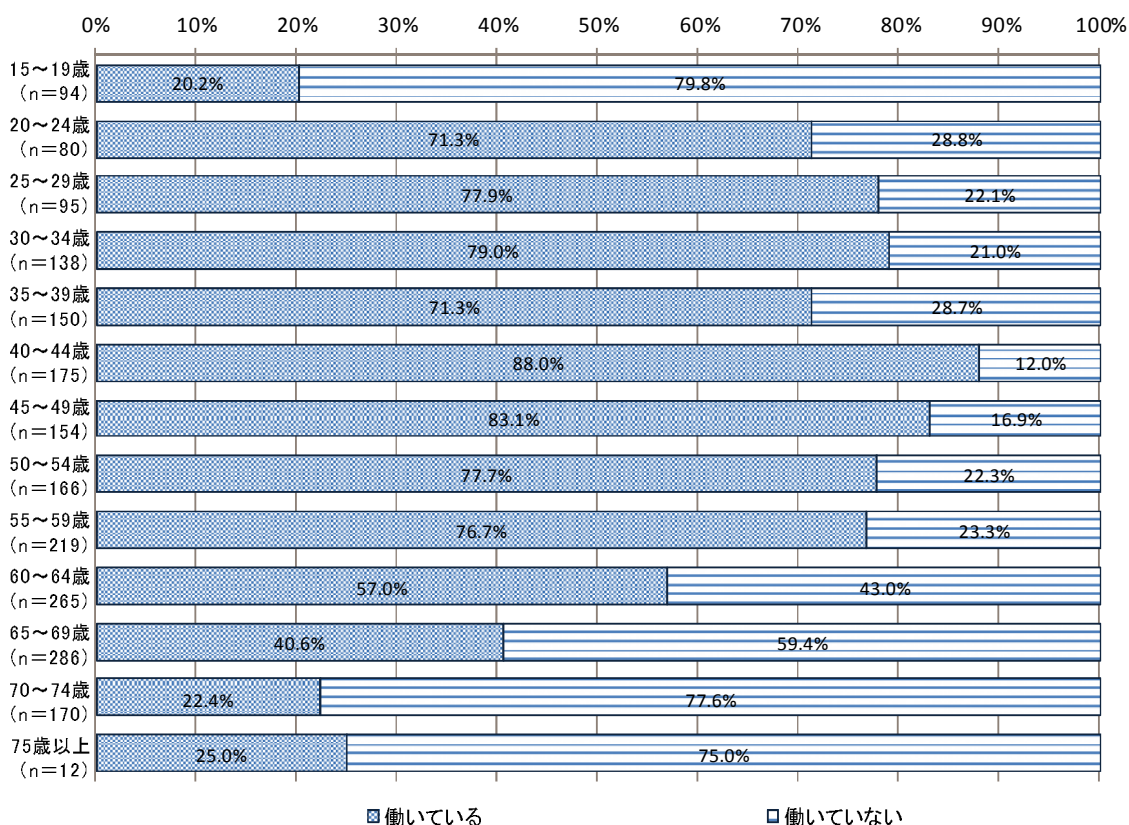
性別・年代別で見ると、男性では、25歳以上から60歳未満の年齢層で、就労者が概ね9割を占めている。女性では、<20～24歳>と<40～44歳>は約8割が就労しているのに対し、その間の25歳以上から40歳未満の年齢層で就労者の割合が低くなり、40歳代以降は就労者の割合は減少し続けている。

■就労者・未就労者の割合

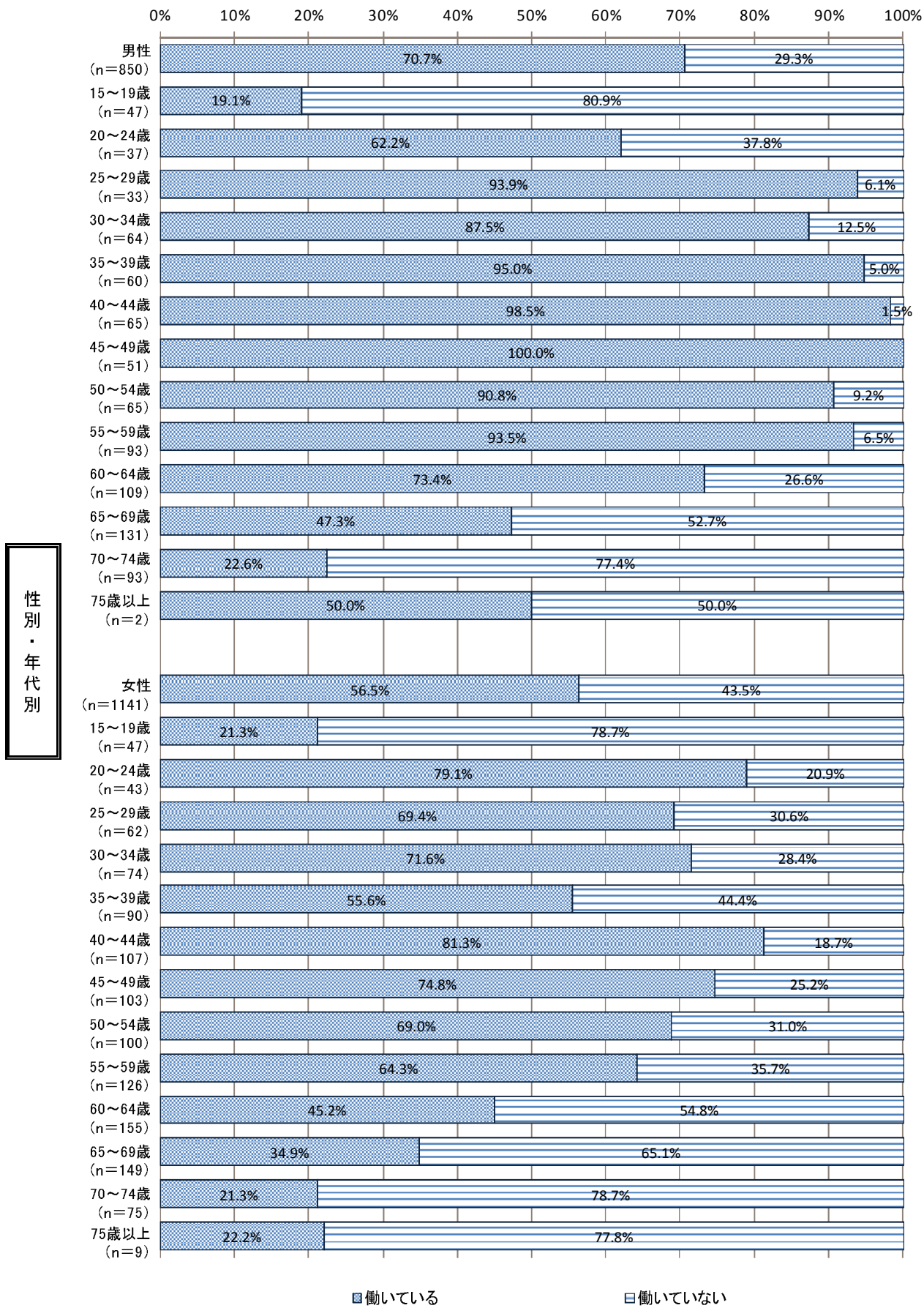
【回答数=2,005】



《年代別》



《性別・年代別》



2. 性別・年齢

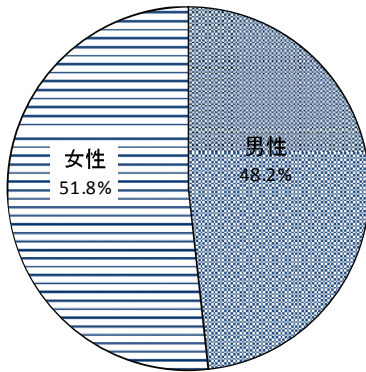
(1) 就労者

回答者の性別は、「男性」が48.2%、「女性」が51.8%である。

■回答者の性別・年代

(性別)

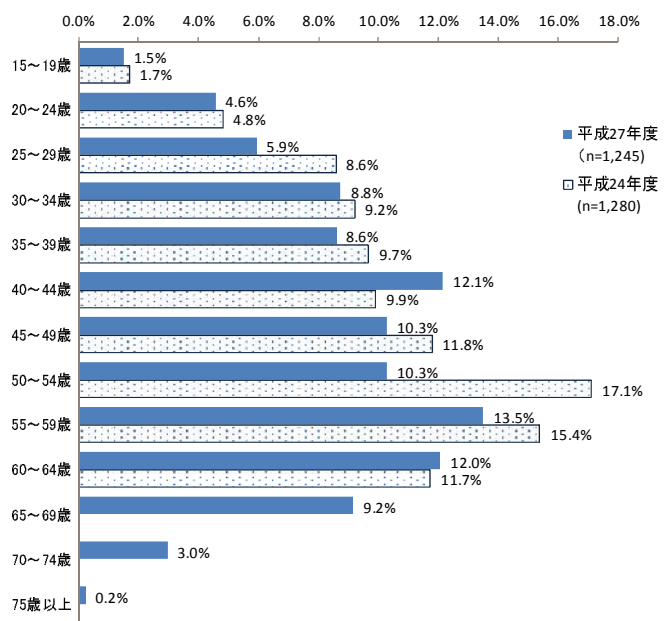
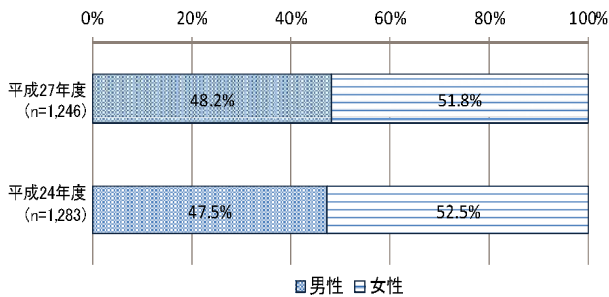
【回答数=1,246】



(年代別)

年齢	回答数	割合 (%)
15～19歳	19	1.5%
20～24歳	57	4.6%
25～29歳	74	5.9%
30～34歳	109	8.8%
35～39歳	107	8.6%
40～44歳	151	12.1%
45～49歳	128	10.3%
50～54歳	128	10.3%
55～59歳	168	13.5%
60～64歳	150	12.0%
65～69歳	114	9.2%
70～74歳	37	3.0%
75歳以上	3	0.2%
計	1245	100.0%

《前回調査との比較》



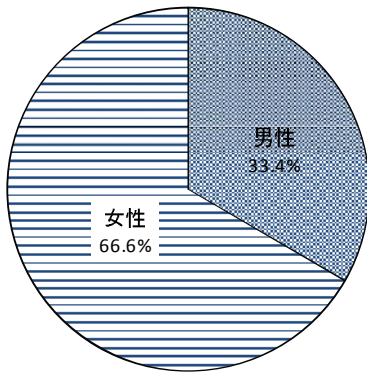
(2) 未就労者

回答者の性別は、「男性」が33.4%、「女性」が66.6%である。

■回答者の性別・年代

(性別)

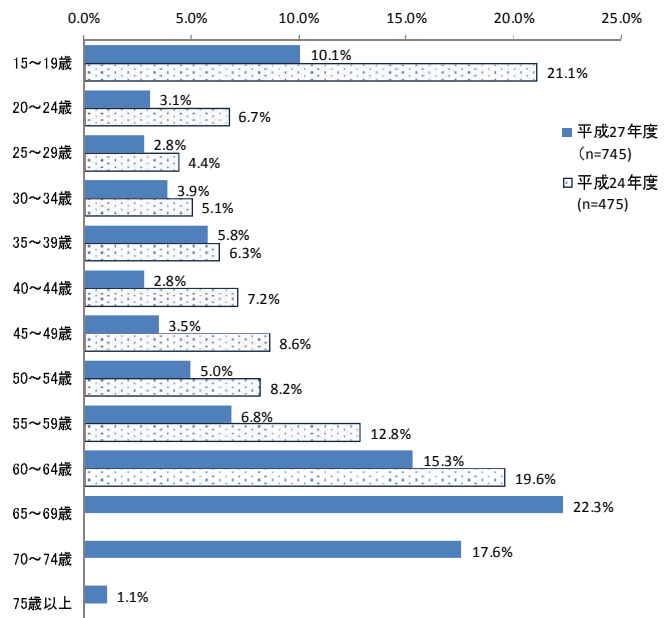
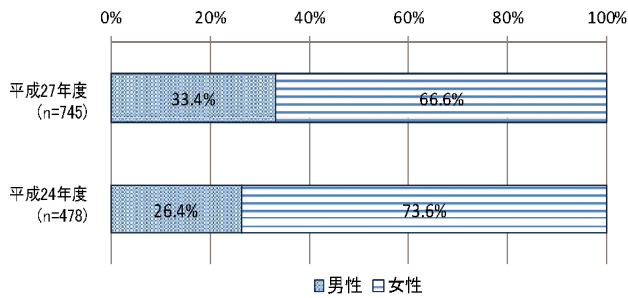
【回答数=745】



(年代別)

年齢	回答数	割合 (%)
15～19歳	75	10.1%
20～24歳	23	3.1%
25～29歳	21	2.8%
30～34歳	29	3.9%
35～39歳	43	5.8%
40～44歳	21	2.8%
45～49歳	26	3.5%
50～54歳	37	5.0%
55～59歳	51	6.8%
60～64歳	114	15.3%
65～69歳	166	22.3%
70～74歳	131	17.6%
75歳以上	8	1.1%
計	745	100.0%

《前回調査との比較》



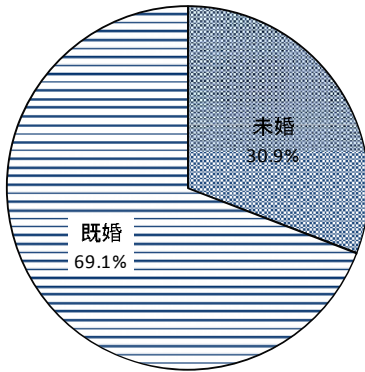
3. 配偶者関係

(1) 就労者

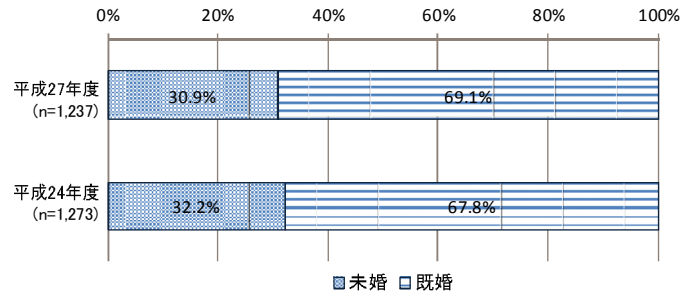
配偶者関係は、「既婚」が69.1%、「未婚」が30.9%である。

■配偶者関係

【回答数=1,237】



《前回調査との比較》

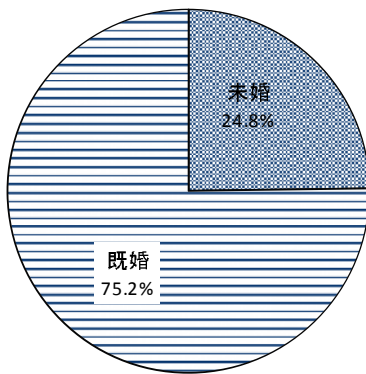


(2) 未就労者

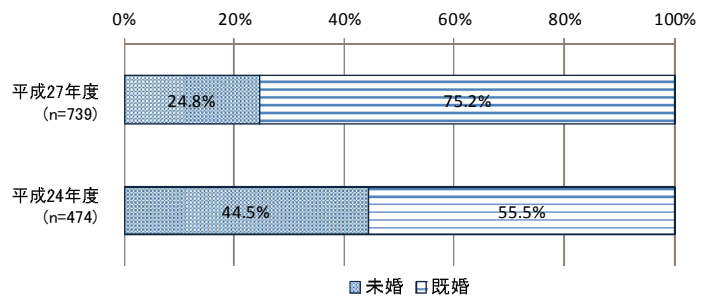
配偶者関係は、「既婚」が75.2%、「未婚」が24.8%である。

■配偶者関係

【回答数=739】



《前回調査との比較》

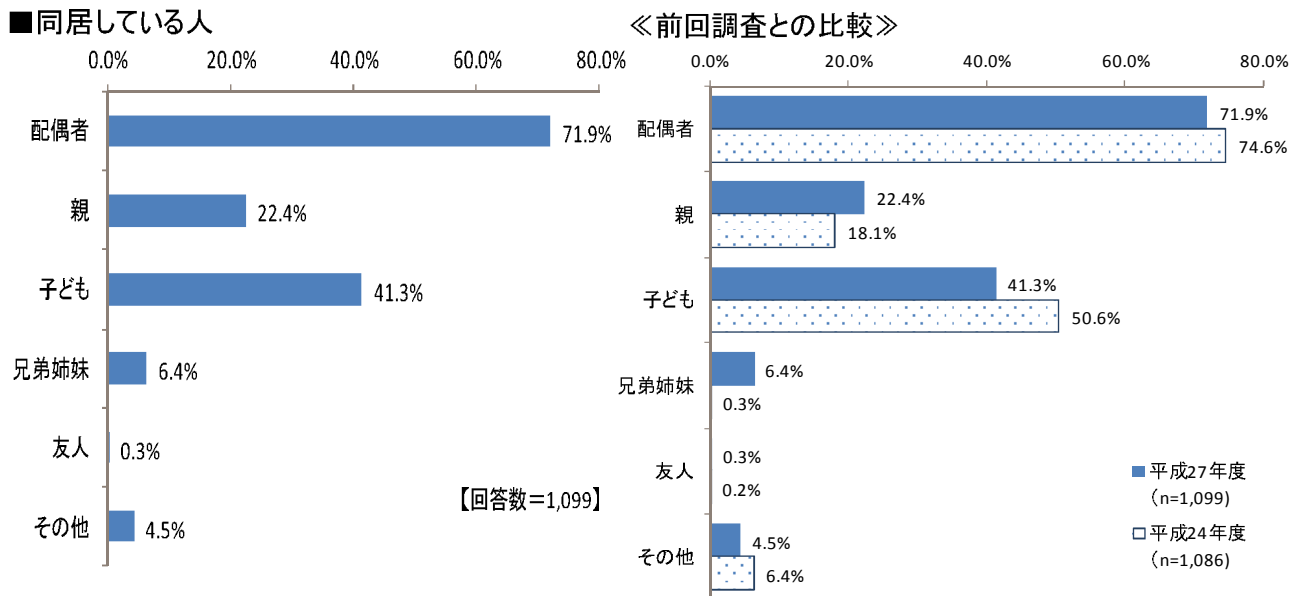


4. 同居している人

(1) 就労者

同居している人は、「配偶者」が71.9%で最も多く、次いで「子ども」(41.3%)、「親」(22.4%)である。

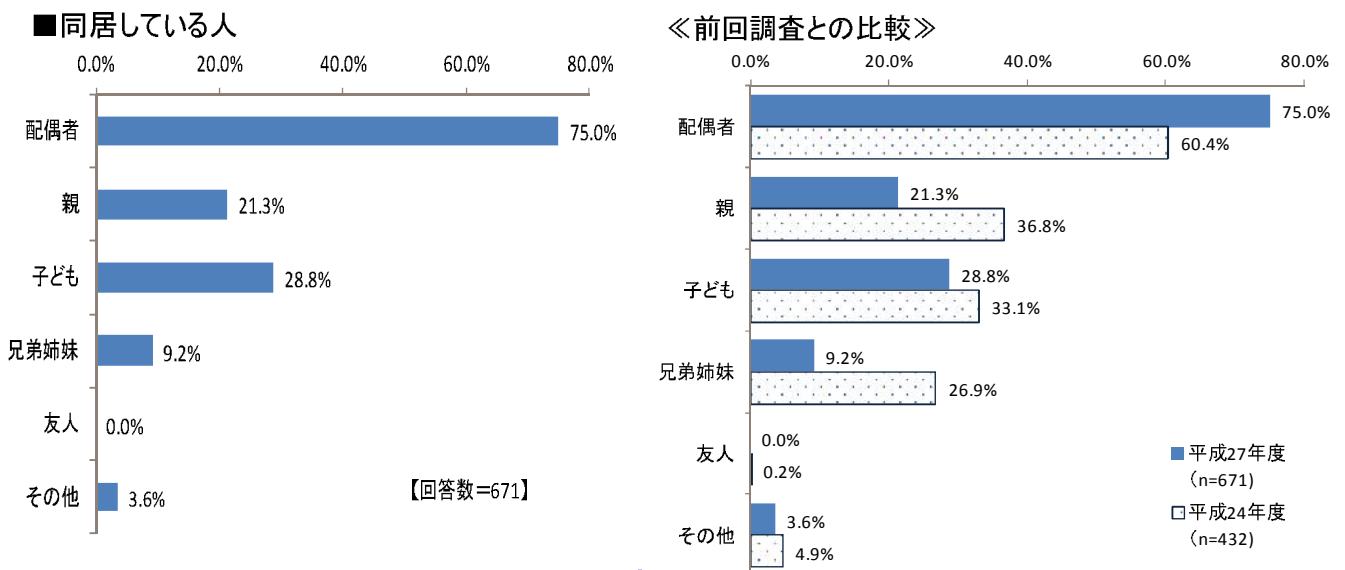
前回調査との比較では、「子ども」の割合が減少している。



(2) 未就労者

同居している人は、「配偶者」が75.0%で最も多く、次いで「子ども」(28.8%)、「親」(21.3%)である。

前回調査との比較でみると、前回より「親」「兄弟姉妹」の割合が減少している。



5. 家庭での主たる生計維持者

(1) 就労者

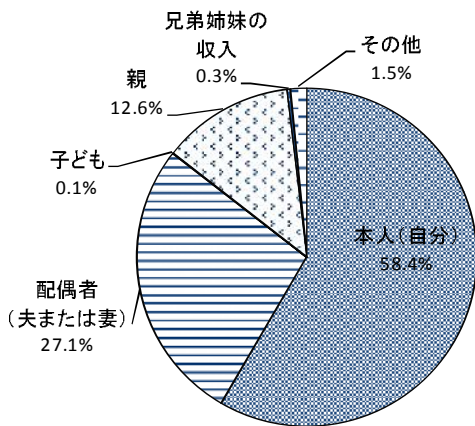
家庭での主たる生計維持者は、「本人（自分）」が58.4%で最も多く、次いで「配偶者（夫または妻）」（27.1%）、「親」（12.6%）と続いている。

前回調査との比較では、大きな違いは見られない。

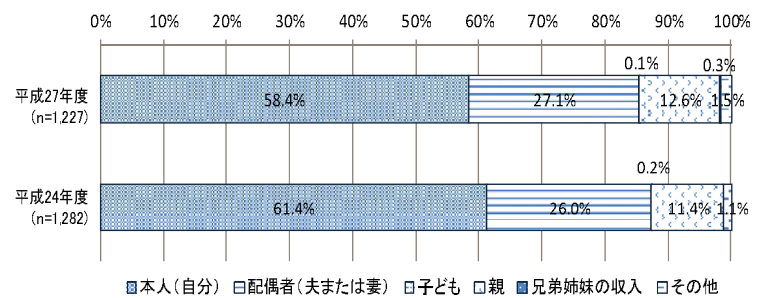
正規・非正規の別でみると、＜正規＞では「本人（自分）」が7割を超え、＜非正規＞では「本人（自分）」が3割を超えている。

■主たる生計を維持している人

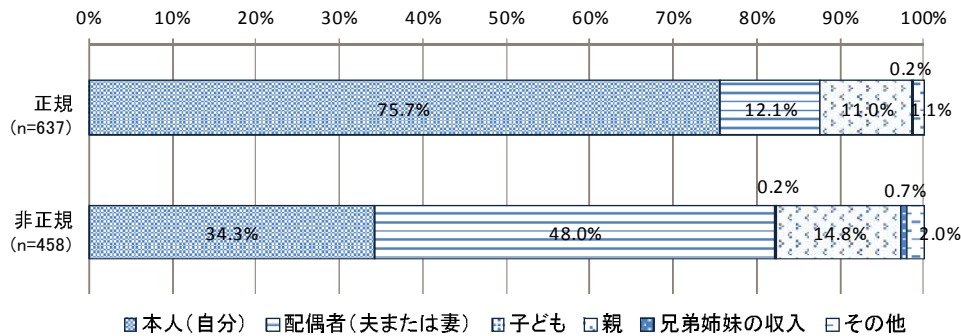
【回答数=1,227】



《前回調査との比較》



《正規・非正規の別》



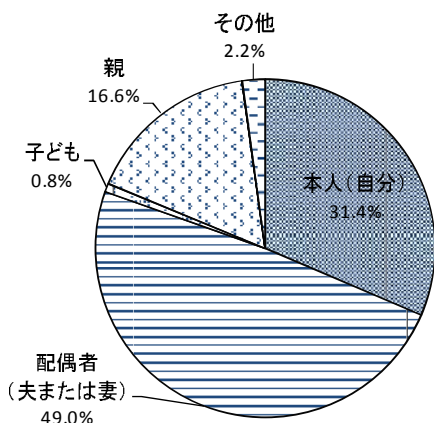
(2) 未就労者

家庭での主たる生計維持者は、「配偶者（夫または妻）」が49.0%で最も多く、次いで「本人（自分）」（31.4%）、「親」（16.6%）と続いている。

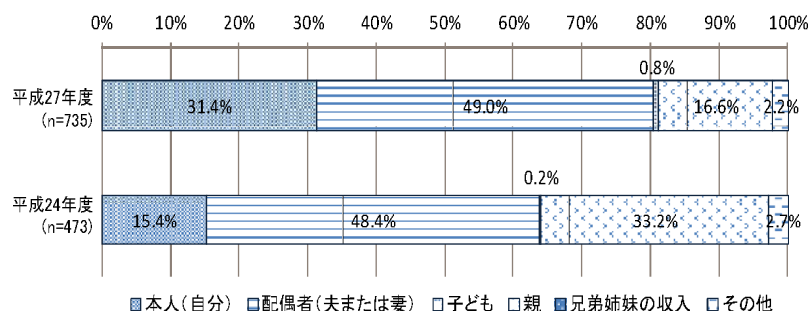
前回調査との比較でみると、「本人（自分）」の割合が前回は16.0ポイント上回っている。

■主たる生計を維持している人

【回答数=735】



《前回調査との比較》



6. 年収

(1) 就労者

回答者本人の年収は、「200万円未満」が41.3%で最も多く、次いで「200万円以上 400万円未満」（29.8%）、「400万円以上 600万円未満」（16.0%）と続いている。

前回調査との比較では、大きな違いは見られない。

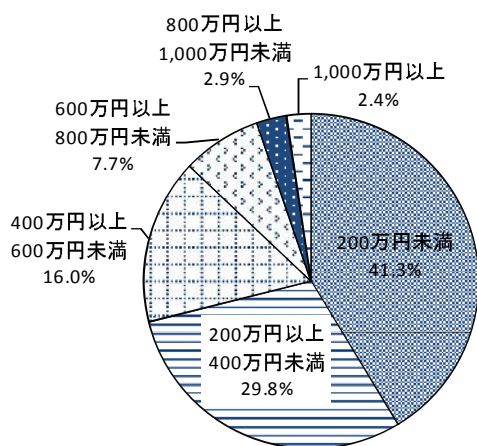
性別でみると、＜女性＞では「200万円未満」が約6割を占めている。

性別・年代別でみると、女性では、＜25～29歳＞＜30～34歳＞を除く年代で「200万円未満」が5割以上を占める。男性では＜40～44歳＞で「400万円以上 600万円未満」の割合が高く、＜50～54歳＞で「600万円以上 800万円未満」「800万円以上 1,000万円未満」の割合が比較的高い。

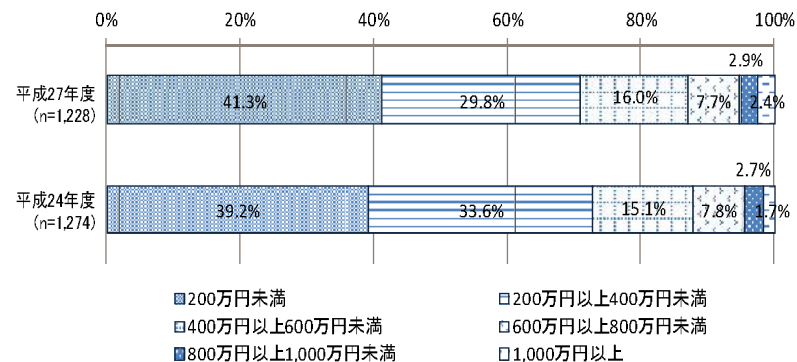
正規・非正規別でみると、＜非正規＞では「200万円未満」が8割弱を占めている。

■回答者本人の年収

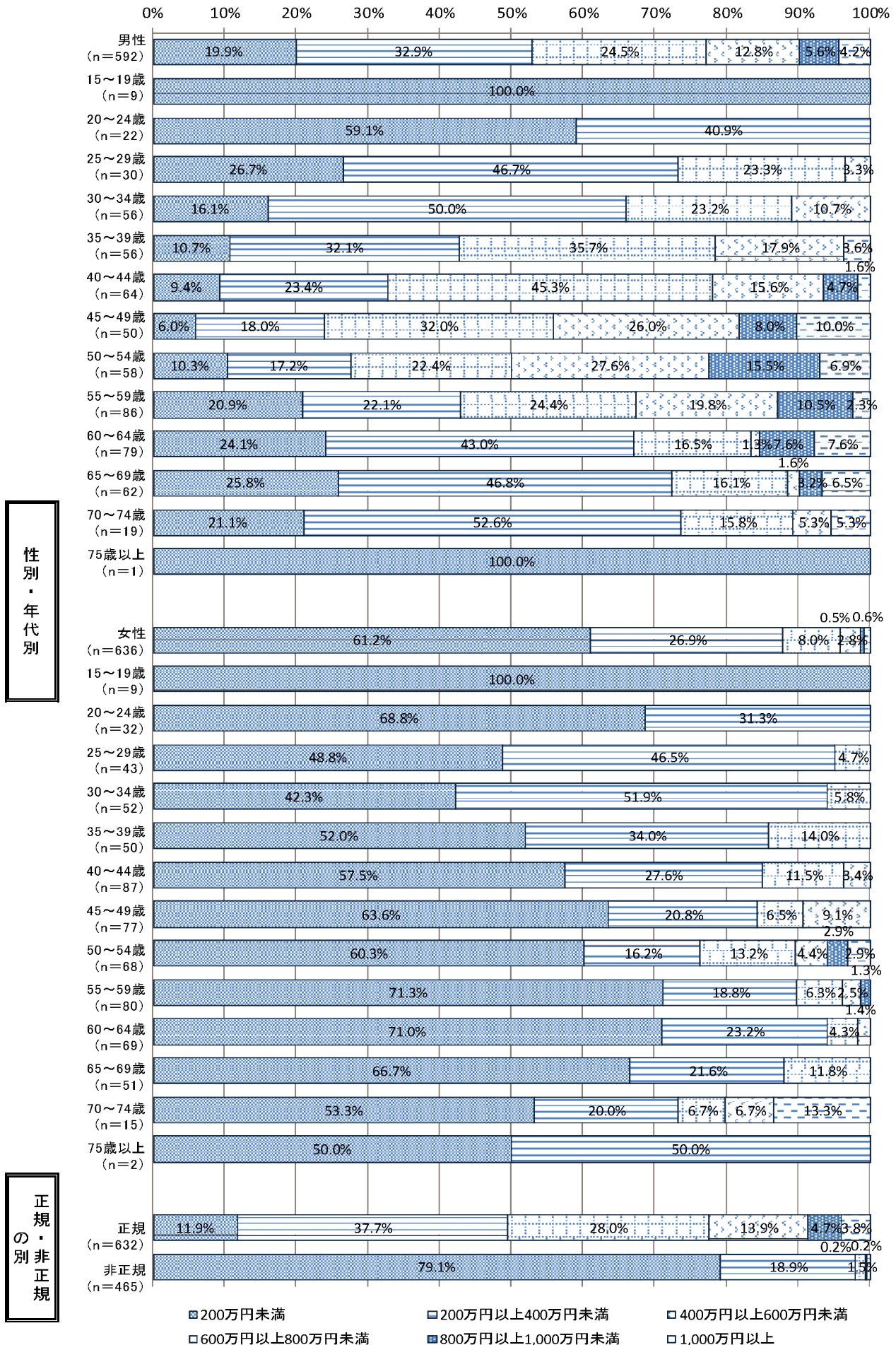
【回答数=1,228】



《前回調査との比較》



《性別・年代別／正規・非正規の別》

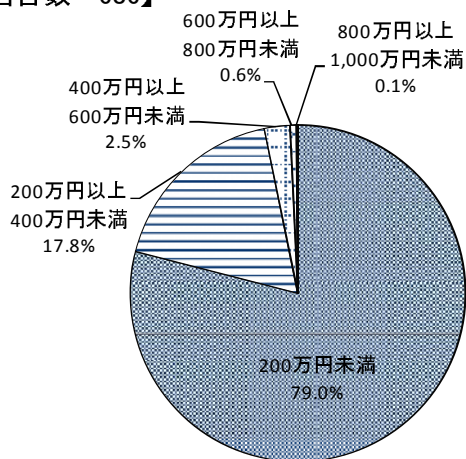


(2) 未就労者

回答者本人の年収は、「200万円未満」が79.0%で最も多く、次いで「200万円以上400万円未満」(17.8%)と続いている。

■回答者本人の年収

【回答数=686】



7. 希望年収

(1) 就労者

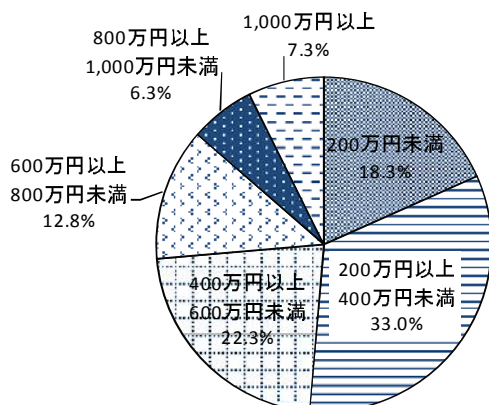
希望する年収は、「200万円以上400万円未満」が33.0%で最も多く、次いで「400万円以上600万円未満」(22.3%)、「200万円未満」(18.3%)と続いている。

性別でみると、<女性>では「200万円以上400万円未満」が約4割、「200万円未満」が約3割を占めている。

性別・年代別でみると、<女性>では、<20~24歳><25~29歳><30~34歳>で「200万円以上400万円未満」が5割以上を占める。また、35歳以上では年代が上になるほど<200万円未満>の占める割合が高くなっている。<男性>では、25歳以上から40歳代で「400万円以上600万円未満」「600万円以上800万円未満」を合わせた割合が6割以上と高くなっている。また、<45~49歳><50~54歳>では800万円以上を希望する割合が4割以上を占め、比較的高くなっている。

■希望年収

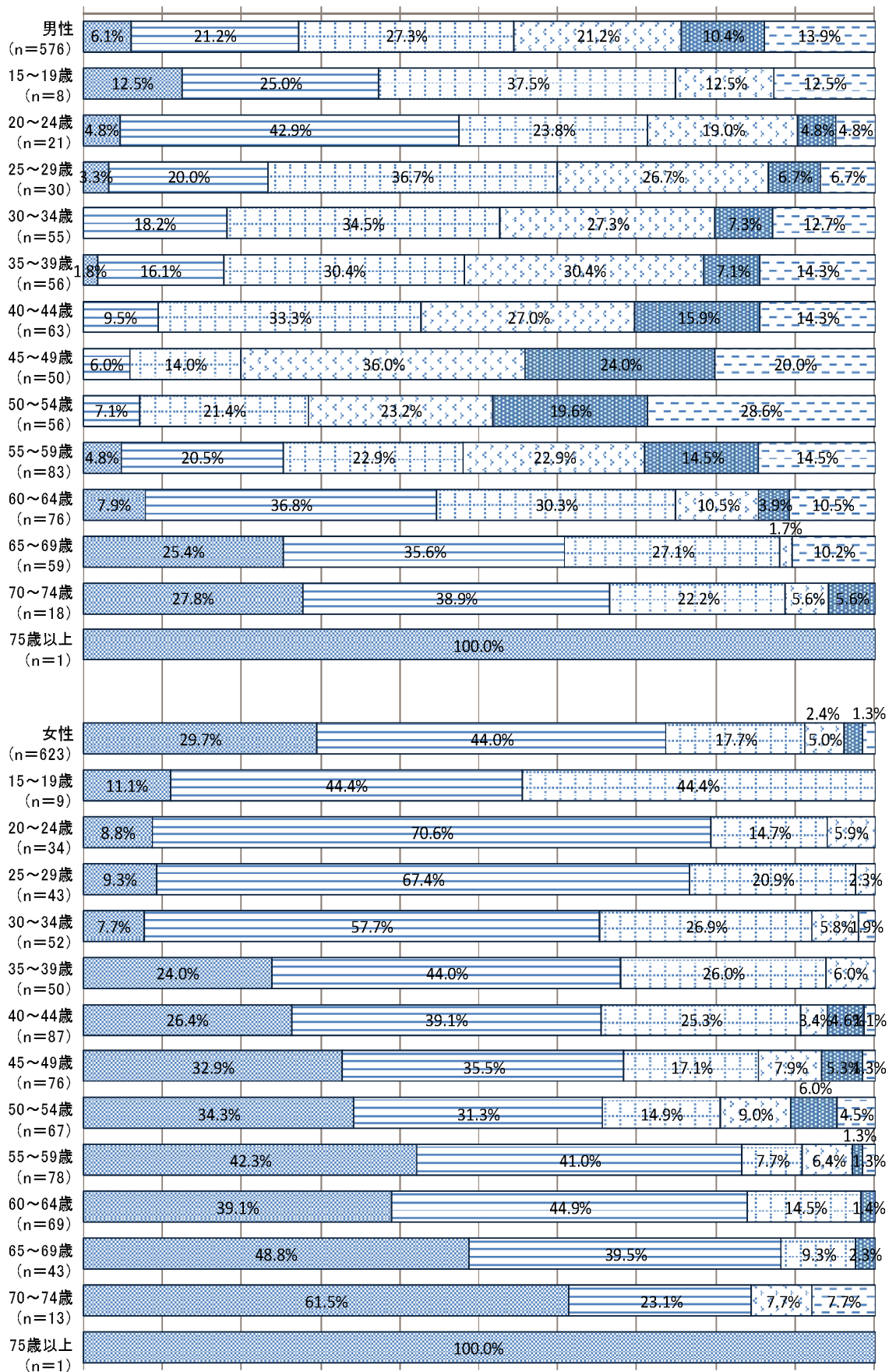
【回答数=1,199】



《性別・年代別》

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

性別・年代別



200万円未満
 200万円以上400万円未満
 400万円以上600万円未満
 600万円以上800万円未満
 800万円以上1,000万円未満
 1,000万円以上

(2) 未就労者

回答者本人の年収は、「200万円未満」が44.1%で最も多く、次いで「200万円以上 400万円未満」(32.1%)、「400万円以上 600万円未満」(15.0%)と続いている。

■ 希望年収

【回答数=585】

